



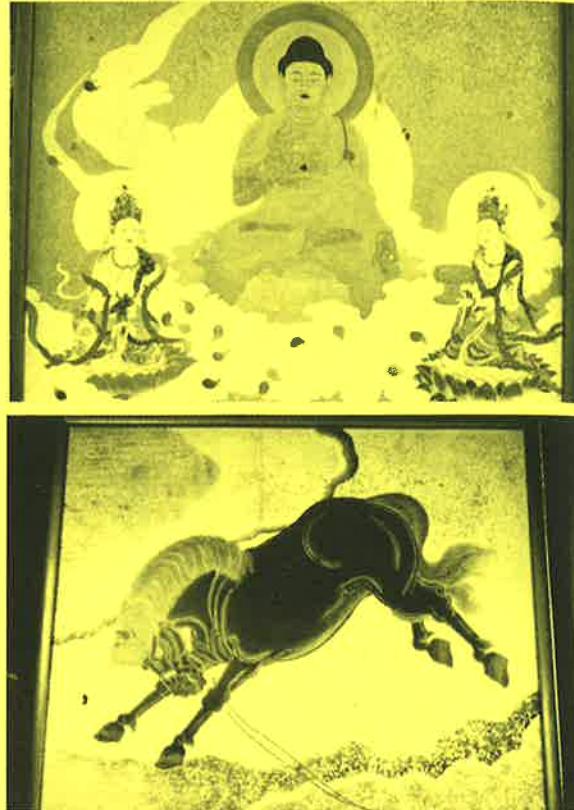
越後三十三ヶ所第十番札所
千手觀世音略縁起

〒948-0132

新潟県十日町市友重乙 170-1

別當 長徳寺

☎ (025) 768-3930



千手觀世音菩薩略縁起

御本尊千手觀世音菩薩は、人皇四十九代光仁天皇の御代宝龜元年（七七〇）大和国子嶋寺の僧延鎮の作と伝えられ、この觀世音菩薩を守本尊として信仰していた時の征夷大將軍坂上田村磨は、延暦二十年（八〇一）北征の帰途、北陸道を経てこの地に至り、夢知らせにより一字を建立、御本尊を安置し、守り役に士卒を残して京に帰られた。

当地は士卒の名に因んで伊勢平治、友重と称し、北条五代最明寺時頼卿、康元元年（一二五六）越後回国の折り定められた三十ヶ所觀音靈場の第十番札所として、多くの善男善女の信仰をあつめている。

- 堂内には土佐派の巨匠、児玉輝彦画伯の壁画十三面、格天井画百八十二枚の大作と、回廊には三十三觀音、七福神の額が納められ、一層の美観を呈している。又、仁王門格天井には、三十六歌仙、川西のシンボルであるブナの木・キジ鳥・山ゆりが画かれている。

十日町市指定文化財（昭和五十四年六月二十三日指定）

● 木造金剛力士像

天衣を頭上にひるがえし、眉を逆立て眼を開き、阿形像は左手を振り上げて金剛杵を握り、吽形像は左手の五指を開いて掌を前に見せて立つ。

江戸中（後期の作と思われ、仁王門と共にかつての千手觀音堂の隆盛をうかがい知ることが出来る。

● 仁 王 門

寛延二年（一七四九）に出雲崎の大工が建築した、入母屋造り二重の仁王門である。茅葺きの「みの甲」の曲線が美しく、足廻り、軸部、斗棋、軒廻り、妻飾り、柱間装置、天上などの構造手法は近世の社寺建築に指标を与えて貴重である。

● 千手觀世音御詠歌

枯木にも花咲くべしと聞くからに
心ある身のみたの頼もしきかな

* 行事

・二月十七日〔祈祷祭〕

（家内安全、交通安全、厄除等のご祈祷）

・七月十六日・十七日〔十七夜例大祭〕

・七月十八日〔大般若法要〕

・八月九日・十日〔九万九千日〕

◎ご祈祷は隨時お受けいたしております。